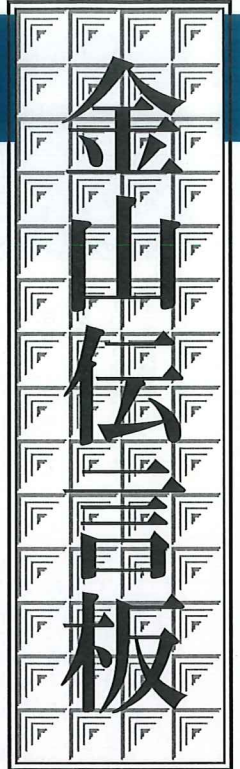


# バードウォッチングガイド



## 冬に見られる野鳥・・・オススメ観察スポット紹介!!

駐車場から山際道路を歩いて野鳥の森の方へ行くと、森の中からアオゲラやアカゲラが木の幹に穴をあけて虫を取ろうとしているのが見られます。下池に行くと主にカルガモが30〜40羽ほど見ることが出来ます。その中にマガモやコガモが混じっています。その先の湿生植物園では八つ橋周辺の茂みでウグイスが地鳴きをしています。そこから見てせせらぎが下池に流れ込んでいる所をよく見ているとアオジやカシラダカを見ることが出来ます。また、そこにヤマホオシロが来ることもあるので注視が必要です。そこからふれあい工房の方に歩いて行くとジョウビタキや植込みの近くではシロハラを見ることが出来ます。



山際道路の辺りではカケスが群れをつつて飛んでいます。警戒心が非常に強いので、写真を撮るには苦労するかと思います。ふれあい工房から上池の方に歩いて行くと茂みの近くでアオジやシロハラ、ルリビタキがたまに見られます。上池では主にマガモがオススメです。合わせて100羽以上見ることが出来ます。他にはコガモ・カルガモが見られます。2月に入ると冬鳥の移動が始まりますのでオシドリを見る事ができるかもしれません。そこから野鳥の森のほうに入って行くとルリビタキ・アオジを見ることが出来ます。

第143号  
発行 金山総合公園  
編集 園長 三田芳夫  
太田市長手町480  
Tel.22-1448  
http://gunma-kodomonokuni.jp  
ISO 9001  
ISO 14001  
www.intlcert.com

## 野鳥に会いに公園内を散策してみましょう!

### 園内で確認された野鳥 (2017.12.11~2018.1.19)

ヒドリガモ・マガモ・カルガモ・オナガガモ・コガモ・ホシハシロ・キジバト・アオサギ・オオタカ・カワセミ・コゲラ・アカゲラ・アオゲラ・ハヤブサ・カケス・クイタダキ・ヤマガラ・シジュウカラ・ヒヨドリ・ウグイス・エナガ・メジロ・ミソサザイ・シロハラ・ツグミ・ルリビタキ・ジョウビタキ・スズメ・セグロセキレイ・ベニマシコ・ホオジロ・カシラダカ・ミヤマホオジロ・アオジ

計34種類

〔園内自然ふれあいマップ更新履歴参照〕

### 「自然ふれあいマップ」ご存知ですか?

からくり時計の斜め後ろにある看板をご存知でしょうか?毎週木曜日に、スタッフが園内を回り、季節の山野草・野鳥をチェックします。そのチェックした最新情報を掲示している看板を「自然情報マップ」といいます。毎週更新しているので参考にしてみてくださいね。



# アンギン織りでコースターを作ろう！

担当：佐藤



（次回3月18日（日）実施予定。詳細はイベント情報ページ「確認下さい」）

アンギン織とは、なんと縄文時代から続いている織り方であり「すのこ」や「巻きたれ」などの織り方として現代に継承されています。

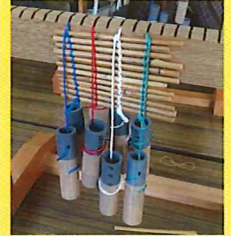
こどもの国のイベントでは、参加される方が取り組みやすいようにヨシの茎を用いて、コースターを編みます。

では、織り方を説明しましょう！

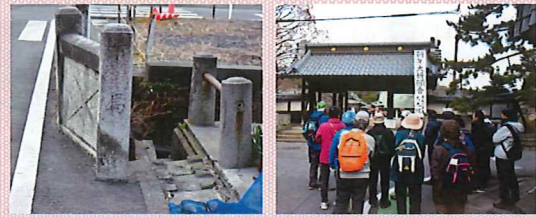
- ①織り機に重り（こもつち）を付けたタテ糸を4本かけます。
- ②約12cmのヨシの茎、15〜20本（だいたい12cmになる本数）をヨコ糸の代わりに編んでいきます。
- ③タテ、ヨコの長さが同じくらいになったらヨシの茎を編みこむのを終了します。
- ④タテ糸の重りをはずし、糸を結んで処理します。結んだ糸端の長さを整えてカットします。
- ⑤最後に、ヨシの茎の両端を揃えてカットすればコースターの出来上がりです。

えーっ！それじゃあ織り方が全然わからないではないか！  
という方は是非「コースター作り」にご参加下さい。分かります！  
お持ちしておきますね。

（次回は3月18日（日）実施予定。詳細はイベント情報ページ「確認下さい」）



## 金山歴史山歩：ハイキング教室②



今回の金山歴史山歩は「金山城の歴史②」がテーマです。

目的の地を金山城ガイダンス施設として、施設に向かいながら堀切の見学と、新田氏や由良氏が関係する寺院の由来等を学びます。

まずは、こどもの国を出発してすぐ近くの長谷寺に立ち寄り、寺の由来などの説明を聞きました。そして金山の山裾を回り込む様にして歩き、大光院（義重山大光院新田寺）に向かいました。

この大光院は徳川家康が徳川一族の繁栄と天下泰平、さらには始祖新田義重の追善供養のために建立した寺院です。寺院へと向かう門前商店街の入り口には『下馬橋』という名前の橋があり、馬で来た参詣客がここで馬から下りるといったのが決まりだったようです。

次に行ったのが『吉祥門』。これは大坂夏の陣で大坂城が落城した時にこの山門が完成したという事で家康が吉祥門と名づけたと言われております。

そこから本堂の脇を通過して大光院裏手の『堀切』の見学に行きました。この堀切はスバル北工場の中を通過して東山球場の北側に達する堀切です。

その次に行ったのが金龍寺（大田山義貞院金龍寺）。この寺院は、新田義貞ゆかりの禅林で、応永五年（1398）岩松満純が新田義貞の菩提を弔うために諸堂を建立し開基した寺です。

ここで新田義貞の『墓所』と『供養塔』、さらに由良一族の『五輪塔』を見学してから、目的地である金山城ガイダンス施設に向かいました。

施設に着くと、なんとラッキーなことには、曲独楽をやっていたので、参加者一同で見学をして、その後昼食をとりました。最後は南郭に登って、山を突っ切るようにして、こどもの国に帰ってきました。

記事担当 金子

## ぐんまこどもの国 里山コラム Vol.22

記事担当 羽賀

### 「枝の年齢：芽鱗痕をさがそう！！」

芽鱗痕は年に1回（冬芽の時期）にしかならないので、この痕を探すことで1年でどれだけ枝が成長したかがわかります。

- 【冬芽】 来春の花や葉になる芽。この付け根が芽鱗痕になる。
- 【葉痕】 去年出た葉の痕跡
- 【芽鱗痕】 去年の芽鱗（冬芽を守る鎧のようなもの）の付いていた痕跡、木の種類によってわかり易いものとわかりにくいものがある。

数年前の芽鱗痕までわかる場合もあります。同じ樹木でも生えている場所、樹木の年齢、枝の方位など様々な要因で成長の度合いが変わります。同じ木なのになんで成長の速度が違うのかを考えるのも楽しいかも・・・。



### 色々な木の芽鱗痕↓



## 2月イベント情報

- 3日（土） 節分イベント
- 4日（日） エコキャンドル
- 10日（土） 紙ヒコキ教室
- 11日（日） 手作りスタンプ作り
- 14日（水） 自然観察会
- 17日（土） 金山歴史山歩
- 18日（日） かざぐるま教室
- 25日（日） 自然と遊ぼう
- 28日（水） 自然観察会



寒い季節はお外遊びが減りがちです。そんな時こそ、人の少ない広～い芝生で遊び放題ですよ！



編集後記 担当：野村

インフルエンザが流行っています！乾燥が気になる季節、ウイルスが蔓延しやすい時期ですね。お外から帰ったら、うがい、手洗い、消毒を心がけましょう。少しでも異変を感じたらしっかりと休息することも必要です。自分の為にもお友達の為にもです！